

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3 年 2 月 6日

事業所名:発達支援ルームらしど

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		パーティショやロフトなどの空間を有意義に使った設備がある。	
	2 職員配置数は適切であるか	○		職員配置について適切であり、児童指導員や保育士のみでなく専門職員も配置している	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			
	5 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			新規事業所である為、今回初めて行った。業務の改善に役立てたい。
	6 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○		新規事業所である為、今回初めて行った。HPなどで掲載予定。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		毎月2回の勉強会を開催している。		
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		作成の度に保護者のご意向を確認している。	
	10 子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	11 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	12 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			
	13 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		担当が主体となってチームをまとめている。	
	14 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		児の成長に合わせて適宜内容を変えている。	
	15 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		児の状態に合わせて集団・個別が選べるようになってきている。	

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		療育の度に職員同士で自然と相談が出来ている。	
	18	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	○			
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	22	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○		該当児なし
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○		該当児なし
	24	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保育所等訪問支援と連携をとっており、必要な子の情報は共有できている。	
	25	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保育所等訪問支援と連携をとっており、必要な子の情報は共有できている。	
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		必要なケースに応じて行う
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		
	28	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		保護者も療育室内に入り、リアルタイムでお子様の様子について話すことが出来る。	
30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○		訪問看護事業など当事業所以外の福祉サービスと連携をとって、最適な家族支援の形を促していく。	

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	31 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	32 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		作成の度に計画書を説明し、同意を得てから押印をいただいている。	
	33 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	34 父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		
	35 子どもや保護者からの苦情について、対応の体勢を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情や事故などが発生した場合は出来る限り迅速に対応している。	
	36 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月おたよりを発行している。必要な情報は施設内に掲示、HPでの情報開示をしている。	
	37 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		シュレッダーで破棄している。鍵付きの書庫で書類を保管している。	
	38 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	39 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		
非常時などの対応	40 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○		マニュアルはある為、職員に内容を周知する機会を設ける。
	41 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		毎月の勉強会で避難訓練を組み込んでいく。
	42 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			
	43 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		食事の提供はない
	44 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		当事業所だけでなく、関連事業所の事例も共有している。	
	45 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		外部で受けた虐待防止についての研修を、全職員に伝達している。	
	46 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○		身体拘束を必要とする利用児はいない。